

社会福祉法人はる 実践報告会 開催報告

2025年3月7日（金）にパイ焼き窯にて、実践報告会を開催しました。

「実践報告」とは、自身で学んだこと、研修で学んだことを日々の支援にどう活かしているのか。その結果どのような成果があったのか。法人職員が報告を行う取り組みです。毎年3月に開催しており、今年も3名が報告を行いました。



就労支援における「実践」には、様々な形がありますが、大きく分けて、ふたつの側面があると考えます。ひとつめは、直接対面で関わりながら、進めていく「直接支援」ふたつめは、関係機関との連絡調整や、法制度学習といった「間接支援」です。

今回は特に両方の観点からの、取り組みが最大限に活かされた報告でした。

前半では、就労支援の根幹である「対利用者における特性理解」を。後半では、特性理解から派生して、関係機関との関わり、他支援者の意見を取り入れること、などなど。

日々模索しながらも、事業所内外のチームで取り組み、進めていく支援のプロセスが、職員にとって大きな学びとなりました。

ご来場の方々へ御礼申し上げます、次年度も報告会を開催いたします。引き続き、社会福祉法人はるをどうぞ宜しくお願い致します。

2025年3月19日
社会福祉法人はる 研修委員会

